



Intergraf aisbl  
Avenue Louise 130A, 1050 Brussels (BE)  
(+32) 2 230 86 46



## PRESS RELEASE

"KEEP ME POSTED EU が、『WHY CHOICE MATTERS 選択が重要な理由』レポートを  
発表"

Keep Me Posted EU (KMPEU)キャンペーンは、『Why Choice Matters』レポートの発表をお知らせします。デジタル化が進む世界において、市民がデジタルと紙のコミュニケーションを選択する「選択の権利」を守ることの重要性を強調する重要なレポートです。

「市民が罰則や強制を受けることなく、自分に合ったコミュニケーション手段を選択する権利を守ることは、単なる選択肢ではなく、絶対に必要なことです。21世紀において、非デジタルなコミュニケーションを必要とする、またはそれを好む人々のニーズを無視することで社会の分断を深めることは許されません」と、Intergrafの事務総長であるベアトリス・クロゼ氏は述べています。

『Why Choice Matters』レポートでは、高齢者、障がいのある人々、経済的に困難な世帯、デジタルリテラシーが限られた人々、そしてデジタル上に足跡を残すことを恐れる人々など、社会的に疎外されたコミュニティが直面する排除のリスクについて強調しています。

主な調査結果は以下の通りです。

- **デジタルスキルの格差:** 一部の欧州諸国では、市民の約 47%が基本的なデジタルスキルを持たず、65 歳以上の 42%がデジタル環境から排除されており、重要なサービスへのアクセスが妨げられています。
- **地方の接続問題:** 農村部の世帯の 20~22%がインターネット接続の問題を抱えており、都市部の 8~10%と比べてデジタルサービスへのアクセスに大きな障壁となっています。
- **障がいのある人々:** 多くのデジタルプラットフォームは、コントラストの不備、代替テキストの欠如、操作の難しさなどの問題により、障がいのある人々にとって利用しづらい状態が続いています。
- **デジタル権利と信頼:** 市民のうち、自身のデジタル権利が適切に保護されていると考える人はわずか 43%にとどまり、デジタルコミュニケーションシステムへの信頼が大きく欠如していることが示されています。

「私たちの社会は包摂性の上に成り立っており、コミュニケーション手段を選ぶ自由は、その包摂性を支える基盤です」と、PostEurop のコミュニケーション&公共政策マネージャーであるシンシア・ウィー・ノイマン氏は述べています。

同様に、「情報を紙媒体またはデジタル形式のどちらで受け取るかを選べることは、すべての人の基本的権利を尊重し、誰一人取り残されないようにするために不可欠です」と、AGE Platform Europe の政策マネージャーであるジュリア・ワドゥ氏は述べています。

KMPEU キャンペーンは、政策立案者、企業、公共機関に対し、本レポートで示された枠組みを採用するよう呼びかけています。これにより、ヨーロッパはデジタルコミュニケーションへの移行において、誰も排除されることなく、不利益を被ることのない、より包摂的な社会を築くことができるでしょう。

#### **Keep Me Posted EU について:**

Keep Me Posted EU ([www.keepmepostedeu.org](http://www.keepmepostedeu.org)) は、市民一人ひとりが重要な情報をデジタルまたは紙媒体のどちらで受け取るかを選択する権利を擁護しており、その選択によって追加の費用や不利益を被らないことを求めています。本キャンペーンは、コミュニケーションの権利を包摂性と平等の根幹となるものとして推進しています。